



あけ/おめ。こと/よろ



高田町内会会長
宮 田 寿 雄

平成31年明(あ)けましておめでとうございます。
今年(ことし)も宜(よろ)しくお願い致します。
ご承知の通り5月1日より元号が変わります。平成31年4月までの主な予定は次の通りです。ご確認ください。

2月区役所より「災害時要援護者名簿」が町内会に届きます。今年から名簿は情報共有方式から「同意方式」に変わります。地域の安全と安心を掲げ、各団体が情報交換を行い見守り活動を行っておりますが「お隣同士」と言う範囲で皆様にもご協力をお願いする次第です。

2月昼間開催の「班長会」では上記について現状報告を予定しております。

3月はスポーツ推進委員等「委嘱団体委員」の改選月に当たっています。委嘱委員さんの活動は単位町内会に限らず連合町内会行事など広範囲で行っています。

4月より現町内会役員は1期2年の2年目に入ります。

「2019年 こと/よろ」皆様のご理解とご協力をお願い致します。

防災・防火対策は十分ですか？

10月28日(日)午後7時より高田研修所において、班長・理事40名出席のもとで第3回班長会が開かれました。

港北消防署高田消防出張所長坂詰岳彦氏を迎え、「防災・防火について」と題して、講演を行いました。



講演される坂詰所長

トイレパットの備蓄を

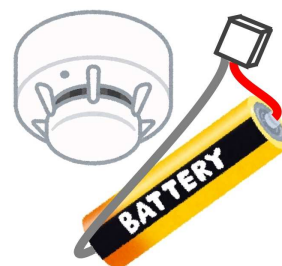
地震発生時は「自分の命は自分で守る」自助が基本で、水や食料の備蓄が大切です。特に食料品は少し多く購入しておき、古いものから食べていくローリングストック方式を勧められました。缶詰やゼリーが良いとのことでした。

これまでの避難所生活等の経験から困ったこととして、トイレの問題があるそうです。災害発生直後は下水管が破損している恐れがあります。そのために「トイレパット」の備蓄を呼び掛けられました。出席者にストックされているか聞いたところ、ストックされているのは少しの人でした。ぜひ備蓄したいものです。

住宅用火災警報器の電池は大丈夫ですか

火災の原因は、ガスコンロ、ストーブ、たばこ、コード・コンセント、ローソク、線香、放火等です。火災防止対策として、ガスコンロでは調理中はその場を離れない。ストーブでは周りに燃えやすい物を置かない。たばこでは寝たばこは絶対しない等でした。特に強調したことは、火災警報器の電池切れのことでした。火災警報器の設置が義務付けられて10年になります。警報器の電池寿命は10年ということです。「そろそろ電池切れの心配がありますので、一度テストをしてみてください」と話されました。

次回、第4回班長会は2月17日(日)昼の時間帯に行う予定です。班長の皆さんの参加をお願いします。





港北区制 80 周年記念 第 34 回港北駅伝大会で健闘
(平成 31 年 1 月 6 日、日産フィールド小机で開催)
【連合町内会の部】 20km23 チーム中
高田 A チーム 3 位、高田 B チーム 17 位



新しい特別会員のご紹介

◎ リリィパワーズレジデンス高田西
今後も宜しくお願い致します。

拠点防災訓練

～新しい取り組みもありました～

高田中学校地域防災拠点

11月18日(日)高田中学校地域防災拠点委員会主催



ダンボールベットの組み立て

年1回行われ、恒例となっている拠点訓練です。避難と避難先運営を行います。今回はダンボールベットの組み立て訓練がありました。3セット用意されており、取り扱い説明書も読まずに組み立て始めたので、少し戸惑いもありました。部品と部品がしっかりと組み合わさり、男性2人が同時に横たわりました。がびくともしません。300kgまで耐えられるそうです。

屋外では簡易トイレの設営を行いました。なかなか難しく、取り扱い説明書を見ながら、組み立てました。

高田東小学校地域防災拠点

12月1日(土)高田東小学校地域防災拠点委員会主催

午前9時、震度6強の地震が発生したとの想定で、参加者は“いっとき避難場所”に一旦集合。10時までに高田東小学校へ徒歩で到着。130名が参加。

最初にトランシーバーで避難所の状況を区役所に連絡する交信が行われました。続いて今回はスタンドパイプ式初期消火器具の説明後、高田消防署の協力による消火訓練が行われました。参加者の多くは興味津々、消火栓の中をのぞいたりしていました。

ダンボールベット組み立て訓練では、参加者からダンボールベットについて「椅子代わりに使え、膝の悪い人にはありがたい」との声がありました。



正門前で消火訓練

「春日局化粧の間、家光誕生の間」見学

～会員交流会日帰り旅行～



上「喜多院」、下「五百羅漢」



12月9日(日)、曇り空の下、参加者61名バス2台で小江戸川越に行きました。

10時頃、川越大師喜多院(天台宗)に到着。2班に分かれ、ボランティアガイドさんの説明で見学。この寺院は、平安時代初期天長7年(830)淳和天皇の命で慈覚大師円仁が建立。慶長4年(1599)徳川家ゆかりの天海僧正が住職となり、「喜多院」と改めました。寺院の中心にある慈恵堂には慈恵大師良源を祀っています。

次に寺院内の「日本三大羅漢」のひとつ「五百羅漢」を見学。1782年から1825年にわたって制作されました。538体の石仏が鎮座する石仏は、すべて異なる表情・ポーズで、それはそれは見ごとでした。



川越名所「時の鐘」

様々な年代・団体で取り組んでいます

～地域と学校の連携～

高田東小学校(高田音頭の練習)

皆さん読まれましたか？

「納涼盆踊大会」で去年度復活させた「高田音頭」。

今年も両小学校のご協力をいただき、子どもたちが練習に励んだ様子が「広報よこはま」9月号の【港北学校通信】欄に掲載されました。

「7月、高田小学校と高田東小学校で、地域の皆さんの指導を受けながら、練習会を開催しました。曲が始まると、すぐに児童が踊りに参加し、上手な手さばき・足さばきを披露していました。児童と地域の皆さんが、楽しいひとときを過ごしました。」

これからも学校のご協力をいただき、子ども達も楽しめる「納涼盆踊大会」にしたいものです。

高田小学校(アジサイの植樹)

昨年から取り組んでいます。高田小学校4年児童による高田西公園でのアジサイ植樹が、11月5日(月)午前10時から行いました。

まず青木副会長の司会で宮田会長、金子高田小学校長、古屋公園愛護会長、児童代表の挨拶がありました。次に、苗木をお世話してくださった青木治さんから植え方の説明を聞きました。

クラス毎に1人1本ずつの苗を受け取り、あらかじめ印のある所を移植ごてで鉢より大きい穴を掘り、そこに肥料を入れ植えました。うまく出来ない子どもには理事もお手伝いし、持参したペットボトルの水を掛け、最後に看板を立てました。

子供たちは「楽しかった」「植えた所に入ってはいけない」「きれいに咲くといいな」と言っていました。

地域と学校との連携が評価された(高田西公園愛護会)



平成30年度横浜市公園愛護会の活動で評価され、横浜市長から表彰されました。

高田西公園愛護会では、毎月第3日曜日に低木の剪定や落ち葉清掃などを行っています。

この活動に高田中学校の生徒(部活動、福祉委員会、ボランティアの生徒たち)と先生が毎回参加しています。このようなことが認められて表彰されることになりました。(「高田町内会だより第15号」参照下さい)



西公園清掃に参加の高田中生徒

台風24号の被害を受けた研修所修理進捗状況

被害直後に応急処置をし、工事業者と工事内容や費用について打ち合わせ、交渉を行い、1月16日から工事に入りました。

工事費用は約800万円になる予定です。

高田町内会顧問 宮田與一様ご逝去

平成30年11月16日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮田與一様は平成元年度から平成15年度まで長きにわたり町内会会長をされていました。

平成25年8月の創刊号からスタートした「町内会だより」。今号で22号になりました。ここ迄学校や警察・消防署等をはじめ各種委員会・会員の方にはたくさんご協力頂き、活動の様子をお伝えしてきました。この他に、今関心が高い防災や安全についての講演会や AED 使用の講習会、班長さん対象の会員交流会など、会員の皆さまの役に立つ行事も多く行ってきました。また、各公園で公園愛護会が行っている清掃活動、中でも西公園に高田中学校生徒が参加を、嬉しい出来事として掲載しました。これらの記事は、高田町内会の範囲を原則としていますので、マンネリ化しないように配慮しました。

30年11月に「町内会だより」の今後について、反省をもとに次の事等を話し合いました。

○魅力ある記事の工夫をする。

○見てわかる記事…写真や図を活用する。

○高田地域の歴史を発掘したり、散歩に役立つ見所を調べる。

○会員の皆さまのご意見やご感想を取り上げ、記事作りに参加していただくようにする。等です。

―歴代広報委員の紹介―

発行のあと「感想や意見をどなたに伝えたらいいのかわかりません」という声がありました。そこで遅くなりましたが、ここに今迄の広報委員を含めてご紹介します。()内は、担当した号です。

○加藤志津子(1～4)○高橋俊明(1～4)○三澤美恵子(1～4)○松田正邦(1～)

○宮田寿雄(1～8)○桜庭昌(5～)○鈴木明(5～)○守安良政(9～12)

○青木清二郎(17～70 周年記念誌)○市川載憲(13～19)○金子正一(20～)

現在の広報委員は、氏名にアンダーラインを付けました。ご意見やご感想等は理事や広報委員にお伝え下さい。皆さまからの声が委員の活動エネルギーです。よろしくお願いします。 広報委員会

高田って どんどころ？ ―18―

高田の鎮守 “天満宮”

高田町内会のほぼ中央 小高い丘の上に天満宮があります。正中2年(1325)に建立されました。学問の神様 菅原道真公を祭神として、今年の元旦には参道の石段の下の鳥居の所まで参拝者が列を成しました。 60年ほど前、この鳥居は元丸正ストアー辺りに有り、



小さな太鼓橋も架かって、荏田・勝田からのバス停(天満宮前)もありました。余談ですが、新城からのバス停は現在とほぼ同じで、田んぼの中です。だから綱島へ出る時は、丁字路に立ちバスが見えるとそちらに走って乗ったものです。さて鳥居から二か所の踊り場を経て、九十数段登ると狛犬が待ち構えてくれ、くねった石畳の緩やかな坂道を行くと五段程の石段があり、更に上っていくと三十数段の石段がありました。上りきった所が今の狛犬の位置です。正面に薄明かりの拝殿が見えました。

鳥居からここまで周りはササヤブで街灯はありませんでした。(金子正一)



天満宮



編集後記 よりよい「町内会だより」をめざして、今号では ・防災の取り組み ・会員交流会そして子ども達の町内会活動参加を掲載しました。又、この地域を知っていただきたいという思いで、人気のあるシリーズで高田の歴史にふれました。皆様から感想をいただき、更に充実した紙面を作りたいです。(M.M)